

では若手研究員が最も多い科となり清新の気に満ちているが、内外に実績を示した旧気象科の伝統をいかに引き継ぎ発展させてゆくか、今後に期待されることである。

現在、農業気候資源の分布・変動の評価、耕地微気象の特性、耕地における CO₂ やメタンの動態、光化学オ

キシダントにもなるオゾンによる作物影響、環境評価に役立つ作物生長予測モデルの開発等の研究を精力的に進めている。また、気象管理科は、今後の重要問題である地球規模環境変動に対応する研究をリードして行くべき分野として、所内の期待が寄せられている。

1989（平成元）年度トヨタ財団研究助成の公募のお知らせ

トヨタ財団では、これまで14回にわたり、交通安全、生活、自然環境、社会福祉、教育・文化の諸領域を対象に研究助成を行ってまいりました。5年前からは「新しい人間社会の探求」を基本テーマに研究計画を募集しておりましたが、昨年度からはその中でも次の2つの課題に重点を置くことにしました。

- ① 高度技術社会への対応
- ② 多文化社会への対応

自然科学、人文科学、社会科学の諸分野の研究者や、福祉や教育の現場で実務に携わっている方々の、斬新な発想による研究計画の応募をお待ちしております。研究者の所属など、一切の資格を問いません。

なお、本助成は日本の研究者を主な対象としたものですが、何らかの点で日本と具体的な関わりのある研究であれば、外国の研究者でも応募可能です。

助成の概要

1. 助成の対象
 - ・上記の基本テーマに関する研究で第1種研究（個人

奨励研究）、第Ⅱ種研究（試行・予備研究）、第Ⅲ種研究（総合研究）の三つの研究種別があります。詳しくは応募要項をご参照ください。

2. 助成金額・期間

- ・助成金額は合計2億円程度です。
- ・助成期間は本年11月1日より1～2年間とします。

3. 助成の決定

- ・研究助成選考委員会にて慎重厳正に選考の上、9月末の理事会にて決定し、10月初旬に各申請者に文書にて連絡いたします。

応募期間・方法

- ・応募期間は本年4月1日から5月31日（水）、（当日消印有効）までとします。

詳細は下記にお問い合わせ下さい。

〒163 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号
 新宿三井ビル37階私書箱236号
 TEL. 03-344-1701

財団法人 トヨタ財団研究助成係



第2回世界気候会議について

第2回世界気候会議が、1990年7月ジュネーブで、世界気象機関の第42回執行委員会に続いて予定されており、その組織委員会が、1988年6月ジュネーブで開かれた。

第2回世界気候会議の目標は、

① 世界気候計画の中で得られた経験を通して、気候が如何に経済活動に影響を与え、又、気候の知識が如何に有用かという点の周知徹底を計ること、

② 現在の気候変動や、温室効果などの全球的な問題についての現在の知識を評価することである。